

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第1087号



日本共産党高知県議会活動報告
2024年4月21日発行
電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅)



能登半島
地震
ろく月もたてているのに……
復旧の遅さに政治の責任を痛感



4月9日から11日まで、現状調査と今後の支援活動のあり方、行政の支援体制などについて学ぶため、石川県金沢市、輪島市に行きました。
佐藤正幸県議、鏝史郎輪島市議から初動での問題点や港や道路などのインフラがほぼ使えないなかでの課題など、現場視察も



合わせて対応していただきました。
火災による被害が甚大な輪島朝市通りは瓦礫もそのまま、あちこちの剝離した家もほろ手つかずの状況。仮設住宅の建設も遅延していて中学校の体育館にはダンボールハウスがズーリー。市の職員不足など困難山積、国の積極支援が必要で

なるがも日記

No.1085

岸壁が1.5m隆起して便がくたはし港

日本共産党救援募金への協力で2億6,000万円(3月6日締結)が届け、石川、新潟、富山の県庁はじめ18市町へ石川県漁連、輪島朝市組合、赤十字支部等10団体にも、県内では191万2776円です。

「多くの被災者は、全く先が見えない状況で動之気力も考之をまとめることもできていないんです」といふ鏝市議の言葉に政治の冷たいことを実感しました。関西下博への予算と人材も能登への思いです。

※羽咋市の共同支援センター視察
なんて静かなんだろ。被災地に降り立って最初に感じた事です。家屋の解体や再建でトラックや重機が行き交う様子を想像していたので、まるで時が止まっているかのよくな風景に言葉も出ませんでした。

